

## 第2次船橋市文化振興基本方針 個別事業評価シート

事業名	令和5年度出張美術展「どこかで見た不思議な風景」				
担当課	文化課	担当者	益子	連絡先	2888

### 第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	I 気づき始まる
最も該当する施策	I 気づき始まる 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供
関連目標・施策	III 育みつながる 施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実

### 事業の概要

開催年度	平成29（2017）年度		
開催経緯	平成29（2017）年度、船橋小学校にて所蔵作品を展示したことをきっかけに、市内の公民館、学校、文化施設等を会場に船橋ゆかりの美術品を紹介する展覧会として、不定期に開催。 【実績】 平成29年度：船橋小学校、令和元年度：北部公民館、令和5年度：郷土資料館		
事業目的	市内各地にある施設で市所蔵作品を展示、関連イベントを実施することで、遠出が難しい市民の方でも、より身近に地域の美術作品、アートに触れる機会を創出する。		
定性目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各地で市所蔵作品を展示し、地域住民が身近にアートに触れる機会を提供する。</li> <li>・地域住民の文化的な交流を促進し、市民の美術への理解と関心を深め、「ふるさと船橋」への愛着を抱く機会を創出することを目指す。</li> </ul>		
定量目標	過去の展覧会の実績・会期・内容を踏まえてアンケート回収枚数を設定し、それを超えることを目指す。		
対象	市民		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公民館、学校、文化施設等を会場に市所蔵作品を展示</li> <li>・関連イベント（学芸員によるギャラリートークなど）の実施</li> <li>・近隣の小中学生の見学会の実施</li> </ul>		
実施主体	市	市との関わり	主催
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広報ふなばし</li> <li>■ Facebook</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HP</li> <li>■ X</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ チラシ</li> <li>■ その他（バーチャル美術館）</li> </ul>

経年

年度	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (予算)
事業費＝決算額	0	0	0	440,800	①592,525/②813,060
市予算				440,800	①592,525/②813,060
補助金・協賛金等					
その他( )					
人工(常勤職員)				2	1
人工(会計年度任用職員)				3	3
その他人工(共催した施設職員)				3	①0/②2
定量目標値				50枚	①70枚/②70枚
定量目標値の設定根拠				過去の出張美術展の実績から(会期・内容を踏まえて)	過去の出張美術展の実績から(会期・内容を踏まえて)
定量実績値				66枚	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%					
事業内容 ※現年度は計画				令和5年度出張美術展「どこかで見た不思議な風景」【会期】令和5年5月27日(土)～6月11日(日)【会場】郷土資料館【入場者数】1,334人【主催】文化課・郷土資料館	①令和6年度出張美術展「四季を奏でる～旧吉澤野球博物館収蔵美術品を中心に～」【会期】令和6年6月22日～7月3日【会場】郷土資料館【主催】文化課 ②令和6年度出張美術展「画家のメ、学者のメー柴宮忠徳の水彩画ー」【会期】令和6年9月28日～10月14日【会場】飛ノ台史跡公園博物館【主催】文化課・飛ノ台史跡公園博物館
定性目標の実績について 経緯・変遷	<p>・市内の身近な文化・社会・教育施設で美術展を開催することにより、施設周辺地域の住民や小中学校生徒にアート作品に気軽に触れる機会を提供できている。</p> <p>・各施設での美術展開催は、施設との連携が不可欠であり、マンパワーも必要である。その調整によっては、美術展開催に繋がらず、不定期開催となっており、安定的に継続して実施できているとは言い難い。</p>				
自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土資料館の資料を併せて展示することで、場の特性を活かした展覧会となった(郷土資料館での初めての開催)</li> <li>●担当学芸員による対話型ギャラリーツアー(大人向け対話型鑑賞)を実施</li> <li>●(公財)船橋市文化・スポーツ公社事業「対話型鑑賞教室」実施校(薬円台小・薬円台南小)の見学会を実施することで、所蔵作品を掲載したアートカードのアクティビティ後、実際の作品を鑑賞する機会をつくる(これまで所蔵作品展の会場である市民ギャラリーの近隣校しか見学会を実施することができなかった)</li> </ul>				

**事業評価**

評価対象年度	令和5年度
評価実施年度	令和6年度

**事業所管課による一次評価**

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。  
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input checked="" type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
	評価理由	薬円台公園や郷土資料館の利用者がついでに足を運んでくれ、新しい層に「船橋の美術」を伝えることができた。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input checked="" type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
	評価理由	目標としていたアンケート回収枚数をやや上回る実績が得られたため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題	
	出張美術展として、今後も市内のあらゆる地域で展覧会を開催していきたいと考えるが、開催する施設にもそれぞれ 予定があり、美術の展示を長期で行うことが難しい。また、文化課の学芸員は現場に詳しくないため、施設の職員か ら多くの助けを必要とする。	
	求めたい助言	
	文化課・施設職員の両者が疲弊しないためにはどうすればよいか。	

**文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）**

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	【事業に関する評価】 子供たちに本物の芸術作品に触れる機会を提供することが重要であるため、アートカードを用いて対話型鑑賞で広げ ていくという、美術館がないために工夫を凝らした素晴らしい企画である。 しかし、そのような取り組みを続けていくにも限界があるため、アートを市民に広めるための具体的な取り組みが必要 である。 学校や公民館だけでなく市役所ロビー、市民文化ホールやきららホールのロビー、民間の商業施設などの協力を仰 ぎ、あらゆる場所を活用して、市民の参加型、体験型を含めたアート週間のようなものをしてみてはどうか。
	【船橋市の文化政策全体に繋がる評価】 子どもが本物の文化や芸術に触れることは、将来の発展にとって重要であり、そのための環境整備が必要。しかし、 船橋市では文化施設の整備が進んでいない。市民と行政の対話により前進する可能性もあるが、現在のところホール や美術館の建設には具体的な進展が見られない。一部の市民から候補地として市場跡地の活用も提案されているが、 すぐに建設に繋がるのは難しい。当面は、シンポジウムや展覧会などの文化活動の充実に注力し、文化課の人員と予 算の増強も必要。

**フォローアップ**

今後の対応	
-------	--

対応の結果	
-------	--